

● 金剛禪總本山少林寺について

金剛禅總本山少林寺は、日本のどの宗派にも所属していない単立寺院であるが、墓地を管理し檀家によつて維持され、葬式や法要を主とする一般の寺院仏教の寺ではない。

身心を修養して自己を確立し、己れをよりどころとする正しい教尊の教えを伝え、人生の種々の悩みから脱却して、生きることを楽しくする教化の道であり、道院は自己を完成するための行である靈肉一如の修練法、易筋行を演練する道場である。

教義

本宗団の信仰の中心は大宇宙の大靈力たるダーマである。ダーマは宇宙の根本実相であり、大生命であり、大光明であり、大靈力である。この大靈力は無形なるが故に、見ることは出来ないが存在は忍識できる。

時間と空間を超越して存在する大引力であり、全ての生物を、生成化育する大生命力であり

因果応報の道理を司さどる 大靈力である

まかはんにやはらみたしんぎょう

教
典

第 期 氏名 (

聖 せい

句<

○ 己れこそ己れの寄るべ、己れを措きて誰に寄るべぞ、良くな整え
し己れこそ、まこと得がたき寄るべなり。
自ら悪をなさば自ら汚れ、自ら悪をなさざれば自らが淨し、淨
きも淨からざるも自らのことなり、他者に依て淨むることを得
ず。

願

われらこそ我等此の法を修めるに当り、祖を滅せず師を欺かず、長上を敬い、後輩を侮らず、同志互いに親しみ合い援け合い、協力して道の為につくすことを誓う。

われらといつさいの既往を清算し、初生の赤子として、真純单一に此の法修行に専念す。

此の法修は、資生利人の為に修行し、決して自己の名利の為に此の法去は。

らしい
手はい
詞し

謹みて天地久遠の大みぢから、ダーマを札拝し奉る。
我等、無始よりこのかた、煩惱にまつわれて造りたる、もろもろの
罪とがを、悉く懺悔奉る。
われら我等、この身今生より未来に至るまで、深く三宝に帰依し、み教え
に従い奉る。願わくば良き導きと加護を垂れさせ給え。

道訓

信 しん
条 じょう

一、我等は、愛民愛郷の精神に則り、世界の平和と福祉に貢献せんことを期す。

一、我等は、正義を愛し、人道を重んじ、礼儀を正し、平和を守る真の勇者たることを期す。

一、我等は、身心を練磨し、同志相親しみ、相援け、協力を一致して理想境建設に邁進す。